

科目名	リハビリテーション	担当講師	加藤 仁志・黒川 望 鳥海 亮
授業形態・単位数	講義 30 時間・2 単位	開講学年	2 学年
評価基準	講義期間内の 2 回の筆記試験により判定する。欠席は減点しないが、出席点を加味する。中間試験 40%，学期末試験 55%，出席 5%として、全体で 60%以上を合格とする。		
目標	リハビリテーションの理念や障害分類，リハビリテーションのサービス体系について理解し，介護職としての資質や目的意識を高めるために①リハビリテーションの理念を知ること，②リハビリテーションのサービス体系を知ること，③疾患ごとの障害形態や特徴を理解することを講義の到達目標とする。		
回	講義内容	方法	
1	リハビリテーションの理念（ガイダンス込み）（黒川）	講義	
2	リハビリテーションの領域と役割（黒川）	講義	
3	リハビリテーションに関する社会資源（黒川）	講義	
4	福祉用具（黒川）	講義	
5	住居の改造／福祉のまちづくり（黒川）	講義	
6	リハビリテーション介護（鳥海）	講義	
7	関節リウマチのリハビリテーション（鳥海）	講義	
8	中間試験（第 1 回～第 6 回の内容について）（鳥海）	中間試験	
9	脳卒中のリハビリテーション①（加藤）	講義	
10	脳卒中のリハビリテーション②（加藤）	講義	
11	脊髄損傷のリハビリテーション（鳥海）	講義	
12	パーキンソン病のリハビリテーション（鳥海）	講義	
13	高齢者のリハビリテーション（加藤）	講義	
14	地域リハビリテーション（加藤）	講義	
15	学期末試験（第 8 回～第 14 回の内容について）（加藤）	定期試験	
テキスト・参考書	最新介護福祉全書別巻 2 リハビリテーション論		